

「北九州市立夜間中学校設置基本計画（素案）」に対する  
市民意見の概要及び本市の考え方（案）

**【内容】**  
 1 趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見  
 2 内容や表現に対して追加や修正を求める意見  
 3 今後の進め方等に対する考え方を述べた意見  
 4 その他の意見

**【反映結果】**  
 基本計画に記載済  
 基本計画に追加・修正する  
 基本計画に追加・修正しない  
 その他

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
計画全体にかかること				
1	夜間中学校は「あってはならない学校であり、なくてはならない学校」と言われる。貧困やいじめで義務教育を受けられないことは許されず、夜間中学の存在自体が問題である一方、現実はそのような人が学びを望んでいる。必要悪だが学び直しの場ができることは嬉しい。 入学した人にとって、北九州市の夜間中学校が「なくてはならない学校」であってほしい。	本市の夜間中学の理念に掲げた「学ぶことが楽しい」、「学び続けたい」と思えるとともに、「仲間といろいろな経験」ができる学校になるよう、取組みを進めてまいります。	1	
2	学べる場所と集える場所を提供することは素晴らしい。「この学校に出会えてよかった」と思っ卒業できる学校になることを願う。			
3	不登校の方や親に帯同して来日した外国の方にとって、学校は勉強や社会性を身につける場として大切である。 夜間中学校の創設に賛同する。			
4	不安な面もあるが大きな一歩だ。			
5	「誰一人取り残さない社会」を実現するため、北九州市が先進的な学びの実現に取り組むことをお祈り申し上げます。			
6	皆さんが楽しく勉強できるように。			
7	誰もが気軽に楽しく勉強出来るように。			
8	色々な家庭環境、過程の方々が他者を尊敬し、学び合える学校にできたらいい。			
9	通う事が楽しくなる、あたたかさのある学校である事を一番に望む。			
10	夜間中学校開設のご尽力に感謝する。			
11	一人で勉強できる力と人との交流を通じて課題を解決する力の両方が学べる学校を望む。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
12	市民はまだ夜間中学校を知らないと思う。バス・モノレール・市民センターなどで広く知らせてほしい。	市民の皆様は夜間中学校を知っていただくためのシンポジウムやチラシなどを通じた広報を行ってまいります。	3	
13	北九州市が夜間中学校を設置する報道がされてきているが、市や教育委員会から市民への働きかけが少ないと思う。情報発信を増やして市民と一緒に夜間中学校を作ること考えてほしい。			
14	菊陵中学校の生徒との相乗効果を生むとともに、トラブルを防ぐ仕組みを検討すべき。	菊陵中学校の校舎を使用することから、両者の安全に配慮してまいります。 また、お互いを理解する取組みも検討してまいります。	3	
15	夜間中学が菊陵中学校の中で、「借りぐらし」状態にならないよう配慮して欲しい。			
本市における夜間中学校設置の必要性に関すること				
16	自主夜間学級での学びが楽しいです。私は学校に通っていませんでしたが、今は友達も出来、話も出来るようになりました。	自主夜間学級は、ボランティアなどで運営される民間の夜間学級で、本市には穴生・中学校「夜間学級」と城南中学校「夜間学級」の2校があります。 自主夜間学級は、公立の夜間中学校とは違った学びのニーズがあると考えています。 本市としても引き続き、自主夜間学級への支援を行ってまいります。	3	
17	想定より多くの応募があったときは、城南や穴生の自主夜間学級を紹介してほしい。			
18	穴生や城南の自主夜間学級がどうなるのかが気になる。強制的に廃校にするなどしないでほしい。			
夜間中学校設置の基本計画に（素案）に関すること				
1 夜間中学校の理念（夜間中学校は何を目指しますか、ゴールは何ですか）				
19	市内全域から受け入れる学校であるから、予定地の文化に特化した学校にすべきではない。	貴重なご意見として承ります。	3	

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
2	学校の概要（どんな学校ですか）			
	(3) 校舎位置（どこにつくりますか）			
20	仲間と集う場所、自分たちの確実な居場所として、1階に教室をつくってほしい。	<p>施設を整備する上では、様々な方が夜間中学校で学ぶことを考え、バリアフリーに配慮するとともに、多目的トイレなどの整備を進めてまいります。</p> <p>夜間中学校の教室は、施設の都合上、3階に設置することとしております。そのため、車いすを利用される方や高齢で階段の上り下りが難しい方の入学も考え、エレベーターの設置も検討しておりますが、これは設置に時間がかかるため、開校時点では間に合わない予定です。</p> <p>教室の備品や照明については、今後選定することとしておりますので、いただいたご意見を踏まえて検討を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見全てに対応することは難しいですが、夜間中学校の生徒にとって安全で快適な学校施設となるよう取組みを進めてまいります。</p>	3	
21	学校へ行く機会を失った生徒が「学校の門」をくぐり、教室に入るとは精神的に負担が大きい。また、障害のある生徒にも学びやすい学習環境を提供する必要がある。開校から「壁」を作ってはいけない。夜間中学の生徒の動線を考え、校門をくぐり、下足箱、エントランスホールでの雑談スペース、教室での学びなどを考えて、1階を中心に教室を設置してほしい。			
22	学校に足を運ぶことで精一杯の人や階段をのぼることが難しい生徒のため、1階に教室を設置してほしい。			
23	学校の床はすべてバリアフリーにしたい。			
24	生徒の中には高齢の方や身体に障害のある方もいると思う。ついては、ユニバーサルデザインの視点で学習環境の整備(教室までの段差の解消・教室は下足室からできるだけ近いところに)をお願いしたい。			
25	車椅子使用者、高齢の方、足や膝に痛みがある人々にとって階段の上り下りは、不可能または困難である。エレベーターと多目的トイレは不可欠。			
26	階段はエスカレーターにしてほしい。			
27	予算の問題はあると思うが、エレベーターをできるだけ早くつけていただきたい。			
28	エレベーターを一年待つのが残念。開校時点で間に合わせることはできないか。3階まで上がるのは厳しい方もおられる。			
29	エレベーターの設置を開校時に間に合わせてほしい。			
30	バリアフリーとバリアの共存を考えるべき。バリアフリーだけが、高齢の方や障害のある方にとって過ごしやすい訳ではない。段差が靴を履くのに役立つこともある。生徒の意見をよく聞いて設計してほしい。			
31	定時制高校の方が「仕事から何も持たずに来る生徒や授業が終わると仕事に行く生徒がいる。だから私物を置けるロッカーを用意した。」と言った。夜間中学校にはこのような備品が必要と考える。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
32	<p>夜間中学校の生徒に便利な設備や施策は、昼間の生徒にも役に立つ。</p> <p>具体的には、昼間の教室の照明は雨の日補助に使う程度であるため、夜間に明るさを保てるような照明施設が必要。</p> <p>暗くしてプロジェクターを映すには手元の資料は見えるが、黒板周辺は暗いため照明が必要。</p> <p>すでに暗い夜間の教室は、黒板、真ん中、後ろに灯りが調整できる必要がある。縦列でなく、横列で調節できるスイッチが必要。</p> <p>また、夜間中学校の生徒は、学校生活を取り戻すという気持ちがあると思う。黒板がよい。コントラストの高い黒板は年長者の目に優しい。</p>			
33	<p>教室で家庭科、技術、理科の勉強、作業・実験をすることがあると思うので、コンセント数など十分考えてほしい。</p>			
34	<p>備品について、通常の中学校の教室にあるモニターでは小さい。最大級のものがあれば後悔しない。また、昼間と違い保護ガラスは学校仕様でなくてもいい。</p>			
35	<p>夜間中学校が開校されている時間は図書室に司書等がいて夜間中学生も利用可能にしてほしい。授業が終わった後も利用できることが望ましいが、夜間中学生と図書館担当者が話し合う機会を作り、使いやすい方法を講じてほしい。</p> <p>また、図書館ガイドツアーも実施してほしい。</p>	<p>特別教室や図書室などは菊陵中学校と共用の予定です。</p> <p>そのため、菊陵中学校と相談しながら双方の生徒にとってより良い使い方ができるよう検討を進めてまいります。</p>	3	
36	<p>体育館の通常の照明は夜間でするためには暗いため、照明を増やすべき。古い仕様の体育館は、舞台上手に照明スイッチがあり、消してすぐに入口まで暗闇になるため、入口で入切できるリレースイッチが必要。</p> <p>校庭を開放しなくても、ナイター照明があった方がいい。ひびき高校は年長者が運動場でウォーキング、若者は体育館でバスケットをしていた。ナイター照明が準備できなくてもいずれ必要なる。</p>	<p>体育館については、夜間に貸し出しを行う中で照明スイッチなどの問題が出ていないことから、スイッチ位置の変更などを行う予定は現在ありません。</p> <p>また、夜間の校庭の利用頻度も低いものと想定されることから、ナイター照明を設置する予定は現在ありません。</p>	3	
37	<p>小倉北区高浜一丁目のJR貨物の東小倉に夜間中学校を設置し、JR貨物が駅を設置すれば交通の便の問題が解決する。</p>	<p>夜間中学校は、既存の学校施設を活用することとしました。</p>	3	

2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(4)入学対象者（だれが通えますか）				
38	市外からも通えるようにすべき。	北九州市以外にお住まいの方については、その自治体との協議が整えば受け入れたいと考えております（費用負担や支援策など）。	3	
39	入学条件については、北九州市民とすることは理解できる一方、夜間中学校は県内に北九州市を入れても2校しかない。住まいの自治体の縛りがあり、希望をしても入学が叶わない方も多く存在するのではないか。通学できる範囲を前提に、可能であれば北九州市以外の自治体に住んでいる方にも入学のチャンスを願う。			
40	市外からも入学できるようにすべき。			
41	北九州市近郊にも多くの対象者がいます。是非受け入れて下さい。			
42	条件を満たさない人の場合、排除するだけでなく「有料で受け入れること」を検討したほうが良い。	夜間中学で学びたい人は、できるだけ受け入れる方針です。詳しくは入学希望者全員との面談で条件を確認します。なお、授業料は無料です。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(6)授業方法（どうやって勉強しますか）				
43	ボランティアや退職教員を活用すべき。	ご意見を踏まえ、ボランティアの活用については、他都市の状況なども含めて検討を進める旨記載します。	2	
44	学力の差が大きいため、授業中にボランティアが生徒をサポートする制度が必要。			
45	昼間の中学生は小学校の6年間で各教科を学んでいるが、夜間中学校の生徒の多くはその前提を持たず授業を理解できない人が出る。不登校の人はその時期が異なり授業を始める所もまちまち。 そのため生徒をサポートする人が必要。			
46	地域のボランティア講師などをサポートボランティアとして受け入れれば、生徒にとって勉強がよりわかりやすくなる。			
47	ボランティアを募れば、授業補助や通学補助など様々なサポートができる。 「あってはならない学校」を「なくてはならない学校」にするためには、人と人が交わった時に生じる”熱さ”が重要。			
48	他の小中学校で実施しているスクールサポーターを募集し、地域で支える学校を実現するとよい。			
49	一人一人に沿ったきめ細やかな学習のサポートと、ニーズや年齢にあった教材については特に尽力していただきたい。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
50	習熟度に合わせてカリキュラムが選べるとよい。	入学前に一人一人との面談を通じて、これまでの学習履歴を聞き、その生徒に合ったクラスやカリキュラムを編制する予定です。	3	
51	学習できる場がきちんとでき、能力に合った教育ができるように、上手にカリキュラムが組めるとよい。			
52	学校で勉強したい人たち一人一人に合わせた学習を保障していただきたい。			
53	年齢も社会的背景も異なる生徒であるため、少人数のクラス編制をお願いしたい。			
54	入学した人の学力差、性にきちんと対応できているかを確認してほしい。			
55	奈良、大阪などの公立夜間中学校を見学・交流させていただいたが、学校は教員で決まると感じた。生徒を指導する、教えるではなく、生徒に寄り添える心の温かい教員の配置をお願いしたい。	夜間中学校への教職員配置については、他都市の取組みも参考に、意欲ある教職員を配置できるよう努めてまいります。 また、教職員の「ワーク・ライフ・バランス」の充実に も配慮し、生徒と教職員が ともに学び、成長できる学校 づくりを目指します。	3	
56	夜間中学校に学びに来る生徒の状況や学力定着の観点から個別教科指導の場面が多くなることが予想されるため、教科指導教員の定数以上の配置を希望する。			
57	夜間中学校が素晴らしいものとなるためには、そこで働く方のモチベーションと労働条件・労働環境が鍵と考えている。夜間中学校で働く教職員が意欲をもって働けるような勤務時間や労働環境の整備と「ワーク・ライフ・バランス」の確立のため、労働者の代表からの様々な意見や要望に耳を傾け、教育委員会で規則・規約を作っていたきたい。 いわゆる「ブラック労働」とならないようにお願いしたい。			
58	自主夜間学級の生徒がよく使う筆順ソフトがある。全員が同時に使っても大丈夫な高速インターネット環境が必要。	学校で使用する端末やソフトは、現在の中学生が利用しているものを基本に決定する予定です。 通信環境についても、現在の中学校と同等の整備を行う予定です。	3	
59	インターネットでいつでもだれでも希望する人が、データベース化された授業を繰り返し受けられるようにすること。			
60	通信環境（Wi-Fi等）を整えること。			
61	5教科以外に、体育や美術などの授業を取り入れてほしい。コロナで下火になっている活動や指導者の救済にもつながる。	5教科（英語、国語、数学、理科、社会）の他にも体育なども行います。 具体的なカリキュラムや時間割は今後、検討してまいります。	3	
62	実地でしかできない授業は、開始時間に配慮すること。 仕事をしている方の場合、遅刻も予想されるため4時限目に行くなどの配慮が必要ではないか。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
63	生活困窮者には情報端末機器を貸与すること。	現在の中学校と同等に、1人1台の学習者用端末を整備する予定です。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(7)費用負担（お金はかかりますか）				
64	英検など公的に認められる資格保有者には、授業料を減免してはどうか。	資格の有無にかかわらず、夜間中学校は義務教育の中学校であるため、授業料は無料です。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(8)入学手続き（通いたい人はどこに連絡したらいいですか）				
65	入学に関しては、随時が望ましいと思う。義務教育においては、本人の都合により転入学がいつでもできる。	入学は、春と秋の2回を予定しています。 体験入学などを通じて、夜間中学校の学びを知る機会を提供する予定です。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(9)進級（2年生、3年生になるには）				
66	オンライン教育できるものはオンライン教育を行い、レポートとテストを実施するなど、しっかり評価を行うよう期待する。	授業については対面を基本としますが、オンラインでの授業も活用する予定です。 学習度合いの評価については、生徒の学習意欲の向上につながるものになるよう他都市の事例などを参考にしながら検討してまいります。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(10)修業年限（何年間通えますか）				
67	修業年数は実質設けないほうが良い。	公立の夜間中学校であるため、一定の期間内で卒業を目指していただきたいと考え、修業年限の最長年数は、通常の2倍の「6年」を目途とする旨記載します。 また、安心して学びを進めていただきたいと考え、「個別の相談に応じる」旨記載します。	2	
68	修業年限の最長年数をできるだけ長くして、おおまかでも示してほしい。			
69	修業年限が3年とあるが、夜間中学で勉強を再開する人にとって短い区切りは精神的に不安になる。助走期間なしで中学の勉強をするため、就学年限をもう少し長く決め、「足りない場合は相談による」という文も明記していただきたい。			
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(11)卒業・進路指導（どうしたら卒業になりますか）				
70	卒業後の就職のサポートを強化していただきたい。	卒業後の進路については、進学や就職などニーズに合わせて相談ができるような体制を整えてまいります。	3	

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(12)日本語指導（日本語の読み書きは教えますか）				
71	日本語の理解が不十分、小学校の学習が必要ななどの場合は、年数を大幅にとったコースを別に設けたほうが良い。	生徒の状況によって、中学1～3年生だけでなく、小学校の勉強が必要な方向けのカリキュラムも検討してまいります。 また、日本語指導の教員も配置し、授業を理解する上で必要な日本語の授業を行います。	3	
72	日本語が分からず、読み書きができなくても、若い人なら日本語教育の専門家が教えれば進度が早い。外国籍の学生の年齢や滞日年数などで異なるが、進度によってレベルや進級を早める、高校進学を望む人は迅速・確実にする教育するシステムや配慮が必要。			
73	日本語だけ学びたい人は受け入れないのではなく、様々な学科から日本語を学ぶ学校とし、日本語のみで来られた人は責任を負えないとしたほうが良い。			
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(13)就学支援（お金のサポートはありますか）				
74	就学支援は手厚くして欲しい。 貧困で文房具を買うことができない場合の支援や学校行事にも参加できるようにすべき。	本市の就学援助や他都市の事例を参考に制度を検討してまいります。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(14)教育相談（学ぶ上での悩み事を聞いてくれますか）				
75	生徒は相談しにくいことを抱え込むことが多いので、相談を待つのではなく、顔色や様子、欠席数などで声かけに積極的に取り組んで、通って良かったと思える中学校にしてほしい。	教員だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家を配置することで、生徒一人一人に合わせた相談しやすい環境を目指します。	3	
76	様々な事情を抱える人が夜間中学校に通学することが考えられる。そのため、専門的な知識のある支援者（カウンセラー、看護師）などにいつでも相談できる体制を整えてほしい。			
77	外国籍の生徒も在籍する可能性があるため、日本語指導員の配置や生活支援の面を相談できる社会福祉士、心理カウンセラー、福祉担当の市の行政職員などを配置すると、よりよい学校になる。 いわゆる「教育と福祉をつなぐ」場に夜間中学校が位置づけられるといい。			



No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(15)通学方法（車やバイクで通えますか）				
78	生徒の中には高齢の方や経済的に不安を抱えている方もおられることから、希望者多数の場合は、小倉駅から夜間中学校までスクールバスを運行してほしい。	夜間中学校は小倉駅や砂津バスセンターから近いことから、公共交通機関での通学を推奨しております。 また、学校の敷地も限られているため、生徒用の駐車場を設けることが難しい状況です。	3	
79	高齢の方、障害のある方にスクールバスを運行してほしい。			
80	通いやすい学校にするためには駐車場が必要。 仕事をしている現役世代や年長者で自家用車を移動手段としている人に菊陵中学校校内とその周辺に駐車場を新たに確保してほしい。			
81	労働者や高齢の方、子育て世代の方が夜間中学校に学びに来ることを考えると、校内に駐車スペースの設置は不可欠。			
82	公共交通機関でも、市の中心から離れた地域のバス路線の夜間運行回数は本数がとても少ない。高齢の方や障害のある方でも通学できるような工夫、または補償金を準備して、多くの人が就学また勉学が続けられるようにすべき。	公共交通を運営する事業者 に、夜間中学校の生徒に対して学割運賃が適用できるよう協議を進めてまいります。 また、夜間中学校の生徒が下校する時間帯のバスの運行についても検討を依頼してまいります。	3	
83	城南中学夜間学級にバスを利用しているが、20時過ぎると、1時間に1~2本と少なく、授業が終わってバスの待ち時間が50分ほどもあり大変です。			
84	開校後、北門を開放、短距離でバス停にアクセスできるようにすべき。菊陵中学校を囲む車道は狭く、安全面を考慮すると北門開放がいい。	双方の学校の安全管理上、生徒の出入りは正門を予定しております。	3	
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(16)学校給食（給食はありますか）				
85	夜の食事であればいい。	夜間中学校は、年齢や国籍も様々な生徒が通うことが想定されることから、開校時点で学校給食を提供する予定はありません。 開校後に給食に対する生徒のニーズや他都市の夜間中学校の状況などを踏まえ、検討を進めてまいります。	3	
86	給食は、状況を見て検討となっているのは、様々な要因から準備することが難しい方もおられることからだと思ふ。 ついては希望者を対象に、できるだけ早急に給食を実施していただきたい。			
87	自主夜間学級のボランティアで週5日10時に帰宅し夕食、2時就寝という生活が続いた。給食がないと帰宅して食べるか、パンや弁当を買って来て食べるかだが健康的ではない。 弁当給食でも良いので、手作りの給食を準備してほしい。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
88	給食が必要。仕事を終えて学校に来る人や経済的に困難な人など給食があれば救いになる。			
89	昼の中学校も給食があるので、夜間中学校にも給食がほしい。			
90	給食及び給食時間を確保してほしい。			
91	給食は是非実現をお願いしたい。仕出し弁当に即席の汁でよい。栄養のある食事は、心も身体も満たしてくれる。 「学ぶことは生きること。生きるとは学ぶこと」を支えるのが食事であり、帰宅後の夕食は健康にもよくない。			
92	給食は健康管理や学校生活の楽しみとして重要。是非、実施してほしい。			
93	中学校教員をしていたが、給食が始まってから生徒が健康になり、精神的にも安定して驚いた。定時制高校と同様、栄養バランスがよく、温かいものを食べてほしい。			
94	夜間中学校に通学する生徒は、労働者や子育てや家事に忙しい方、引きこもり生活などで食生活が不安定だった方など、さまざまな環境の中、学びたいと学校の門をたたいた人たちであり、夜間中学校はさまざまな人生を生きてこられた方々が一堂に会して学びを深めあう場である。 生徒同士の「つながり」や教職員との懇談のためにも、夕食を食べるスペースと給食の準備をお願いしたい。			
95	クラスメートと一緒に晩ご飯を食べるのは貴重。働きながら通学する人は校舎に着く前に食べる時間がない。朝と昼働き夜勉強するといった働き盛りの人が、晩ご飯抜きで勉強することの弊害を考えるべき。 引きこもりだった人は家族以外の人との会食は新しい経験にもなる。 外国籍の人は、日本食に馴染む機会であり、日本人生徒にはクラスメートの国の食文化を知る機会になる。 北九州市の昼間の中学生に給食補助があるなら同じ補助をすべき。給食を学校で作ることが難しい場合は弁当の可能性を考えるべき。 学校と弁当業者との間の話し合いを密にして、開校時から給食を始めてほしい。			
96	学校行事や土曜日授業などを設定し、そこで給食を体験できる機会があればよい。			

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
2 学校の概要（どんな学校ですか）				
(17)学校行事（遠足や文化祭、修学旅行はありますか）				
97	<p>行事として、遠足、修学旅行があった方がいい。</p> <p>自主夜間学級で、ある生徒がバスハイクのパンフを持ってきて、「登りやすい山ですか」と尋ねられた。いろいろ聞くと「遠足に行ったことがないので行ってみたい」ということであった。そこから自主夜間学級でも遠足と泊りがけの行事を持つようになった。</p> <p>修学旅行、遠足は学校生活を取り戻すためにも必要。また、いのちのたび博物館などの見学もあると楽しい。</p>	<p>遠足や文化祭、修学旅行には、現在の中学校と同じようにできるだけ工夫して行います。</p>	3	
98	<p>文化祭などで昼間の学校と交流があるといい。双方にプラスに働く。</p> <p>中庭や正門の花壇など夜間中学校の花壇に提供していただいたらいい。</p>	<p>昼間の学校との交流については、どのような形が良いかを含めて検討を進めてまいります。</p>	3	
99	<p>部活動を創設してほしい。</p> <p>コロナで下火になっている活動や指導者の救済にもつながる。</p>	<p>夜間に授業が行われるため、部活動の時間を設けるのは難しいですが、開校後に生徒の意見を聞きながら検討を進めてまいります。</p>	3	
その他				
100	<p>中高一貫校を検討し、3年ではなく6年間で解決することも検討してはどうか。高校を併設した場合は、看護や介護、商業や情報などとの併設や総合科など。高専との併設もありなのではないか。さらには北九州市立大学の附属中学高校一貫校という考え方も可能ではないか。</p>	<p>「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨から、義務教育の機会を提供するための学校として設置します。</p>	4	
101	<p>証明書の発行については条件を設けたほうが良い。</p>	<p>卒業証明書の発行は現在の中学校と同様の運用を検討しております。</p>	4	

No.	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
102	<p>学びを支える企業体の構築を検討してはどうか。</p> <p>西鉄バスやJR九州、JR西日本、チャチャタウン、上富野公民館、ファミリーマート上富野店、シティホール小倉砂津には駐車スペースとして1台分のスペースをそれぞれ提供していただく。また、ポスターを貼らせていただいて、ポスターには「西鉄バスは、学びの実現を応援しています。」のように明記できる。CMやチラシにも明記でき、企業の社会貢献やイメージアップに使っていただくなど。</p> <p>西鉄バスには下校時のバスダイヤを工夫していただくとともに、砂津営業所横の未舗装の駐車スペースを貸していただく。調理実習や物品の購入、遠足、修学旅行には、協力企業のバスや列車を使うようになるなど。</p> <p>学びを支えるまちづくりは企業体だけの支援でなく、市民への浸透理解を広めると考える。</p>	<p>まずは夜間中学校の周知を市民・企業に対して行ってまいります。</p> <p>その後、企業から夜間中学校に対する支援の申し出があった場合には、内容を確認したうえで検討を進めてまいります。</p>	4	
103	<p>教育環境も施設環境も、北九州市の昼間の中学生が享受していることを、夜間中学校の生徒も全て享受できることが大前提である。ある人は現在働いており税金を納めている、ある人は過去長い間働いて来て、長きにわたって税金を納めている。その意味では彼女たち・彼らは北九州市の教育行政に貢献しているから、現役の中学生以上の恩恵を受けてもいいと思う。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	4	